

今だからこそ 心温かく 支え合う世界に

仲間をおもいやる心 困っている人を助ける心

「3つの感染症」とは、①**病氣そのもの** ②**不安と恐れ** ③**嫌悪・偏見・差別**とされています。これらが「負のスパイラル」としてつながることで、更なるウイルス自体の感染拡大を引き起こしているようです。だからこそ幸町中学校では**幸中Blog**にて、様々な情報を発信し、感染拡大の防止を目指しています。ここでは、3つ目の「**嫌悪・偏見・差別**」について触れています。

前は「あいさつ」についてお話ししました。「あいさつ」もせず、人とのコミュニケーションを制限することで、関係に距離が生まれます。お互いを知らないことで嫌悪・偏見・差別につながる可能性も高めてしまいます。だからこそ、あいさつで人と人の心がつながり、お互いを知り、会話が生まれ、認め合う一歩につながるのだと感じます。ぜひもう一度読み返してみてください！

今回はニュースなどで耳にするウイルスの感染に関わる特定の地域・職業・人などに対して、嫌悪・偏見・差別が生じていることに対して、みなさんにも考えてもらいたと思います。

医療従事者をタクシーに乗せない、お店に入店させない、そんな話も聞きます。その一方で、新型コロナウイルスの感染拡大による看護職不足を受け、日本看護協会が離職者の復帰を呼び掛け、100人以上の看護師の方々が再度就職し、電話相談や軽傷者宿泊施設等で苦しんでいる方々を支えている姿もありました。

また、一般の方でもマスク・フェイスシールド・防護服を作り、病院へ支援物資として送るなど、**我々が知らないところで多くの方々が、自らの判断で命を守るために、相手を思いやる心を持ち、困り苦しんでいる方々を助けようと日々戦っているのです。温かい心だと思えます。**

登校できない時間が続いています。コロナストレスもあるかと思いますが、体を動かしたり、新しい自分を発見するチャレンジをしてみてもはどうでしょうか？！また、これまでの自分の生活を振り返り、『仲間をおもいやる心』『困っている人を助ける心』にも磨きをかけてほしいと思います。嫌悪・偏見・差別のない世界へ！

